

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8450
 住 所 東京都千代田区二番町8番地8
 氏 名 株式会社イトーヨーカ堂
 代表取締役 亀井 淳

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社イトーヨーカ堂		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区港町12-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	
	<input type="checkbox"/>	上記以外の事業者 (任意提出事業者)	
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	衣料品、住居関連商品及び食品を取り扱う総合小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	9,945 k l
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	株式会社イトーヨーカドー 施設管理部
		所在地	東京都千代田区二番町8番地8
	電話番号		03-6238-3151
	FAX番号		03-6238-3484
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の環境対策の取組については、ホームページにて公表しています。 http://www.itoyokado.co.jp/company/profile/csr/environment/index.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 10,821 t-CO ₂ (調) 10,806	(実) 10,822 t-CO ₂ (調) 10,807	(実) 12,467 t-CO ₂ (調) 12,449	(実) 17,518 t-CO ₂ (調) 17,489	(実) 10,496 t-CO ₂ (調) 10,480
削減率		(実) 0.0 % (調) 0.0 %	(実) -15.2 % (調) -15.2 %	(実) -61.9 % (調) -61.8 %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	売場面積×営業時間		単位	t-CO ₂ /m ² ・百万時間	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	48.08	48.09	44.72	44.84	46.64
削減率		0.0 %	7.0 %	6.7 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	計画第1年度は夏季の猛暑による冷房負荷増と9時開店日数増による全営業時間増により排出量が微増、原単位も僅かに悪化しました。25年度より全店順次照明設備のLED化を進めています。
第2年度	計画第2年度は大型事業所「グランツリー武蔵小杉店」が11月に開店したため大幅な排出量増となりましたが原単位では改善しています。改善効果は川崎港町店・新百合ヶ丘店の店内照明のLED化によるものです。
第3年度	計画第3年度は大型事業所「グランツリー武蔵小杉店」が通年営業したため大幅な排出量増となりましたが原単位では改善しています。改善効果は小規模なLED化及び川崎店の空調機のインバータ導入によるものです。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<p>○主要設備の保守管理 「管理標準」の定期的な見直し、改善を行う。</p> <p>○空調調和の管理 季節に応じた運転時間管理、外気導入量の調整管理と行う。</p> <p>○空調設備の効率管理 外気条件の変動に応じた台数制御、タイムスケジュールの見直し等 総合的なエネルギー効率の向上を目的とした運転管理の実施。</p> <p>○新設、更新等における措置 照明設備更新にあつてはLED等高効率器具を採用する。</p>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・イトーヨーカドー全店共通「節電対応ガイドライン」レベル2に基づき、運用 対策を徹底しました。 ・照明設備のLED化を推進しています。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・イトーヨーカドー全店共通「節電対応ガイドライン」レベル2に基づき、運用 対策を徹底しました。 ・川崎港町店・新百合ヶ丘店の店内照明LED化実施、他店舗にて小規模なLED照明への更新を実施しました。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・イトーヨーカドー全店共通「節電対応ガイドライン」レベル2に基づき、運用対策を徹底しました。 ・川崎店空調機のインバータ導入、他店舗にて小規模なLED照明への更新を実施いたしました。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・全店舗にて食品売り場のレジ袋の無料配布を中止し1枚2円で販売し、レジ袋使用量削減に努める。2014年2月レジ袋辞退率目標70% ・食品廃棄物の発生抑制に努めるとともに、店舗で発生した生ごみを堆肥化し、その堆肥を使って育てた野菜や果物を店舗で販売する「リサイクル・ループ」の構築を進める。(リサイクル実施店舗数：2012年2月85店舗) 2013年度食品廃棄物リサイクル率目標48%
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年2月レジ袋辞退率66%となりました。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型商品開発の促進として、エコ素材の商品ラベル対応を開始しました。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・酒類紙パックを「アルミ不使用」に変更しました。

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・販売した商品の空容器などを店頭で回収して再資源化。 ・生鮮食品および惣菜の量り売り・バラ売りなど、販売方法を工夫した食品容器包装使用量の削減 ・店舗と物流センター間の配送で、プラスチック製のコンテナ箱を繰り返し使用することでダンボール使用量を削減。 ・2011年4月から、破損または汚損した買い物かごを回収・資源化するリサイクルシステムを構築。(2012年4月 約1,900個を店舗へ導入) ・ネットスーパーでの注文商品について、レジ袋以外に再利用可能なバスケット梱包を導入し、レジ袋使用量の削減に努める。 ・2012年3月からペットボトルのリサイクル促進に向けて店頭に自動回収機を設置し“循環型リサイクル”の実施を行う。電子マネーのポイントに交換可能なリサイクルポイントを付与し、お客様が気軽に参加できるリサイクルシステムの構築に取り組む。(設置店舗数：2012年8月39店舗)
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年3月からペットボトルのリサイクル促進に向けて店頭に自動回収機を設置し“循環型リサイクル”の実施を行う。電子マネーのポイントに交換可能なリサイクルポイントを付与し、お客様が気軽に参加できるリサイクルシステムの構築に取り組む。(設置店舗数：2013年8月105店舗)
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・イトーヨーカ堂を含むセブン&アイ・HD主要6社のサプライチェーン全体における温室効果ガス排出量「スコープ3」を初めて算定しました。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「セブンカフェ」カップに間伐材を使用、認定「間伐材マーク」をカップ側面裏側に印刷しております。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	19,506	t-CO ₂
(調)	19,310	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
グランツリー武蔵小杉店	川崎市中原区新丸子東3-1135-1	5611	総合スーパー	7,016 t-CO ₂
イトーヨーカドー川崎店	川崎市川崎区小田栄2-2-1	5611	総合スーパー	4,152 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
イトーヨーカドー溝ノ口店	川崎市高津区久本3-6-20	5611	総合スーパー	1,763 t-CO ₂
イトーヨーカドー武蔵小杉店	川崎市中原区小杉町3-420	5611	総合スーパー	2,032 t-CO ₂
イトーヨーカドー川崎港町店	川崎市川崎区港町12-1	5611	総合スーパー	2,420 t-CO ₂
イトーヨーカドー新百合ヶ丘店	川崎市麻生区上麻生1-4-1	5611	総合スーパー	2,123 t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--